

講義名	卒業研究		
講義コード	44406	授業形態	
担当教員	桑原 桃音	開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
		オンライン・コード	SEM440

学部・学科	演習分野
全学部	桑原桃音ゼミナール（メディア論、家族社会学）

【概要】
ゆるく、楽しく、でもゼミ生みんなと一緒に頑張りたいと思える。そんなゼミを目指し、そんなゼミ生ばかりが日々頑張っているのが桑原ゼミです。本を読みたい、文章をうまく書けるようになりたい、興味のあることを学術的に探索・研究したいけど苦手意識がある人でも、卒業論文が書けるように、ステップに指導していきます。問題意識を持ち、問いを立て、資料を収集し、資料を読み・分析し、他者に伝わるように文章で表現したり、プレゼンテーションをしたりする能力を培います。このような能力は大学を卒業した後も公私ともに役立つ、人生を豊かにするともあります。

テーマは学生の興味関心を優先するが、おもに教員が専門とする、家族、ジェンダー、セクシュアリティ、恋愛、結婚、若者、日本文化、サバルチャー、メディア等について社会的に分析・考察していく。近現代メディアを主たる分析対象とします。

先行研究を読み、資料を分析、考察するなかで、ディスカッション、プレゼンテーション、文章作成の能力を身につけてもらいます。関連するテキストの輪読・分析、資料の内容分析、必要があればフィールドワークなどを行い、レポートを、最終的に卒業論文を作成します。

また、1・3年ゼミ生懇親会、イベント、中間報告会、ゼミ合宿、就活相談会などを通して学年に関係なくゼミ生同士が交流しながら、一緒に成長できる機会を設ける予定です。もちろん交流を深めるレクリエーションもあります。先輩、OG、OBがゼミ訪問をして就活アドバイスなどを実施しています。

【こんな学生に向いています】
部活、サークル、アルバイト、公務員試験を頑張りたけれど、仲間、先輩が多いゼミで「ガクチカ」になるような活動をしながら、ゼミ活動も充実させたいという学生に向いています（毎年度学内コンテスト入賞者がいます）。先輩、後輩同士で研究について相談、ディスカッションし合います。先輩が優しく、的確にアドバイスをしてくれると定評があります。仲間同士のアドバイス、親睦の機会、後輩指導の中で成長し、人間関係が充実して、コミュニケーション能力も伸ばせます。

【各年の計画】
【研究演習Ⅰ】
夏休みに作成してもらう課題をもとに自己紹介をしてもらいます。自分の研究したいテーマやゼミのテーマにかかわる資料、基本文献などを収集、読解して発表をします。書籍を1冊以上しっかり読んで理解する能力、論理的な文章を書く能力、プレゼンテーションの能力を培います。教科書：桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング（改訂版）』（実教出版）。

【研究演習Ⅱ】
卒業研究・論文に向けて、各自の興味あるテーマに関する文献を収集します。まとめて発表してもらいます。最終的に書評にしあげます。リサーチエッセイの切り出し方、参考文献、調査方法、調査データのまとめかたを学びながら、発表、論文の書き方などのアカデミック・ライティングのスキルを培います。最終的に研究計画書を作成し、レポートにまとめます。さらに、プレ調査、パイロットスタディを実施した結果をもとにプレ卒論を執筆していきます。

【卒業研究】
各自、テーマを決めて卒業研究に取り組みます。先行研究のまとめ、一次資料の分析結果などを発表してもらいます。最終的に卒業論文を執筆します。
卒業論文を書いた先輩が「いやぁ、卒論を書いた経験は今後何があっても乗り越えられるという自信になりますねえ」と言っていました。このような大学生時に感じた自己効力感就職した後も役立つという調査結果もあります（詳細はゼミにて説明）。そんな自己効力感がどのゼミ生も持てるよう一所懸命に指導していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

上記はあくまで予定です。ゼミ生の学部、社会学の知識、研究したい内容、興味などを確認しながら、メンバー全員で相談しながらゼミをすすめていきましょう。

【補足】
家族、恋愛、結婚、セクシュアリティ、性的指向に関するテーマを取り上げることが可能ですが、自分の経験を話す必要は特にありませんので、ご安心ください。ゼミの参加者はこのような発言を強要してはいけません。あくまで、資料から問題関心の答えやそのヒントを得ることを目指してください。

主な卒業論文のタイトル

卒業論文タイトル
「推し活」における支出の性差 大学生を対象とした調査結果の分析から
・女子校出身者が感じる同性・異性友人との友情形成の違いについて 神戸市内の女子校出身者のインタビュー 調査を通して
・『機動戦士ガンダム』で表現されている全体主義化する要因
・コロナ禍がアニメ・リズムに与えた影響 『響け！ユーフォニアム』京都府宇治市を事例にして
・中内切が学生に伝えたかったメッセージとは 『From Rijicho』内容の経年変化の分析
・結婚困難社会の要因とされる結婚観の検討 大学生意識調査をふまえて
『現代の日本の若者のクルマ離れ』
・『アイドルマスター』は2.5次元アイドルを誕生定着させたのか 2000年代～2010年代 声優コンサートに着目して
・『推し』は「理想の恋愛相手像」に関連しているのか
・「大阪府箕面市、豊中市、吹田市における公共交通政策の比較分析-- 公共交通バスの政策としての広域連合の可能性の検証」

学内懸賞論文入賞論文

教員よりの要望

○社会的な思考枠組みを学びながら、メディアを資料として人の生や家族にかかわる問題を取り扱います。その問題を調査・研究して文章やPPTにしてプレゼンテーションをします。したがって、次のような学生を求めます。
・本を読んで、文章を書きたい、苦手意識はあるが本を読めるようになりたい、文章が書けるようになりたいという意欲がある。
・課題を締め切りまでに完成させて、提出することができる。
・議論や意見交換ができ、さらにグループで成果物を完成させることができる。
・人や集団に対して偏見をもたない、人に対して尊重の気持ちももてる。

○3年間に1度は書評コンテストや新聞への意見投稿を課していますので、そのような活動へ積極的に参加したい人を見込みます。学内懸賞論文応募は必須ではありません。

○友人、先輩、後輩、家族と同じように卒業論文を書いて卒業したい人、就活中、就職後に自分の調査・研究していること/したことについて話せる程度にはなりた

選考方法

・提出された書類、面談、面談前後に行うメールのやり取りの内容で選考します。
・所定の期間に面談予定表とメールアドレス、メールに書くべき内容を掲示します。メールのマナーが目にする学生は面談をお断りする場合があります（わからなければインターネット等で調べ）。
・年々、ゼミ志望者が定員を上回るようになってきました。何を頑張ってきたのかの志望理由書を誤字脱字がなくしっかりと書き、面談をしっかり受けることが選考通過の必須条件となっています。気を付けましょう。

評価方法

・出席、課題提出、発表、積極的な授業参加などを総合して評価します。
・課題や成果物はteamsへ提出してもらおうことがあります。
・ゼミでは発表、コメント、ディスカッション等、卒論に向けての指導があります。たとえば、発表の日に欠席があると他のゼミ生の時間を同時に削ることになります。したがって、無断欠席が複数回続いた場合は、単位不認定とします。
・欠席した日の内容は必ず他のゼミ生に関して、準備や課題を済ませて次の回に臨むこと。準備ができていない場合は減点になる場合があるので気をつけること。

教員英字氏名

Kuwabara Momone 研究室
研究棟V 5422教室

最終学歴

龍谷大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士後期課程 単位取得後退学

学位

博士（社会学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

【現在の研究テーマ】
・戦前戦後における配偶者選択に関する歴史社会学的研究 その連続と断絶について
・ティーン誌『セブンティーン』における女子中高生の恋愛・性愛言説分析

【主な研究業績】
単著：『大正期の結婚相談 家と恋愛にゆらく人々』晃洋書房（2017）
共著：
・「私」を書くことがもたらした境界の揺らぎ：1930年代『東京朝日新聞』「女性相談」と山田わかへの回答」『女たちの翼 アジア初期近代における女性のリテラシーと境界侵犯的行動』青木恵理子編、ナカニシヤ出版（2018）
・「1970-1990年代の『セブンティーン』にみる女子中高生の性愛表象の変容」小山静子、赤枝香奈子、今田絵里香編『セクシュアリティの戦後史』京都大学学術出版会（2014）

（そのほかの業績は流通科学大学のHPの教員プロフィールを参照）

趣味・特技

趣味は音楽鑑賞、ライブ鑑賞です。洋楽、邦楽、韓流、ジャンルに関係なく何でも聴くようにしています。好きなアーティストや楽曲を教えてくださいと小躍りするくらいうれしいです。あと、ホラーゲームとホラーゲームのゲーム実況をみるのが好きです。

所属

人間社会学部 人間社会学科

所属学会

・関西社会学会、ジェンダー学会、日本家族社会学会、日本社会学会、日本女性学会、日本マス・コミュニケーション学会、社会調査協会

専門分野

社会学（おもに家族社会学）、ジェンダー/セクシュアリティ研究、メディア論（おもにメディア史）

担当科目

社会学基礎、メディア論、キャリア社会学、ジェンダー論、社会構造論、地域社会学、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

・teams、Zoom、レスポ、OneDriveを使用できるように準備しておいてください。
・個人面談を行います。個人面談についてはZoomで対応可能です。
・ゼミ時間にZoomを用いてオンラインで授業に参加できるようにしてください。

やむを得ない欠席の場合の対応について

1) やむを得なく欠席した授業実施後2週間以内に連絡すること。事前にわかっているのは事前連絡が望ましい。
2) 対応方法、提出が必要な課題や書類、課題締め切りを教員から指示する。
3) 連絡後でも構わないので教務部指定の公欠届と信ぴょう性書類も提出すること。
4) 指定された締め切りまでに課題を提出すること。
診断書等の信ぴょう性書類の提出ができる場合のみ追加課題を提出することができます。

実務経験の有無及び活用